

平成26年度

第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会

日時:平成 26 年5月 20 日(火)15時 30分から

場所:栄区役所本館4階2号会議室

1 栄区セーフコミュニティ推進協議会について

2 議題

(1) 平成 25 年度の栄区セーフコミュニティ活動について…資料1

(2) 平成 26 年度の栄区セーフコミュニティ活動について…資料2

3 その他…資料3

平成 25 年度セーフコミュニティ活動について

1 認証取得について

平成 25 年 10 月 5 日、栄区は WHO（世界保健機関）協働センターから「セーフコミュニティ」の認証を受けました。（世界で 319 番目、日本で 7 番目）認証取得をお祝いするとともに、これからの栄区の発展につなげていくため、認証記念式典と国際フォーラムを開催しました。

【認証記念式典】

- <日時・場所> 平成 25 年 10 月 5 日(土) 栄区公会堂
 <内 容> 記念講演（公式セーフコミュニティ認定審査員）、調印式、
 記念コンサート（ヒダノ修一氏、「さかえ竹の鼓 K I D s ♪」）
 <参 加 者> 600 名

【セーフコミュニティ国際フォーラム】

- <日時・場所> 平成 25 年 10 月 6 日(日)あーすぷらざ映像ホール
 < テー マ > 「世界で安全・安心なコミュニティづくりに貢献する女性たち」
 < 内 容 > 基調講演（木山啓子氏：NPO 法人 JEN 理事・事務局長）、
 パネルディスカッション（NPO 法人 国際子ども権利センター、
 NPO 法人 ACE、公益財団法人プランジャパン）
 < 参加者 > 120 名

2 各分科会について

(1) 開催状況

分科会	開催日		
	平成25年6月17日	平成25年11月25日	
子ども安全対策	平成25年6月17日	平成25年11月25日	
スポーツ・余暇安全対策	平成25年7月16日	平成26年1月29日	
交通安全対策	平成25年5月14日	平成25年11月8日	平成26年2月5日
暴力・虐待予防対策	平成25年6月24日	平成25年11月25日	平成26年2月24日
高齢者安全対策	平成25年7月1日	平成26年3月11日	
災害安全対策	平成25年6月19日	平成26年3月3日	
自殺予防対策	平成25年5月30日	平成25年8月8日	平成26年2月6日
傷害サーベイランス	平成25年8月5日	平成26年3月7日	

(2) 取組について

別添資料1-1参照

(3) 傷害サーベイランス分科会について

進捗管理シートに基づき、各分野別分科会が作成した目標に対する自己評価・課題及びそれを踏まえた次年度の目標設定について、専門的な見地から評価・助言等を行います。

■ 主な評価・助言と課題への対策

(ア) 各取組間の連携、情報共有について

【評価・助言】

・各取組について、横断的な連携が必要。情報のプラットフォームを作成し、様々な情報を入れ、それらを分科会横断的に共有できる仕組みがあると良い。

【対策】

- ・S C 推進会議（庁内会議）で四半期ごとに情報共有
- ・区民向けにはS C レポートなどの媒体を活用し、区連会等を通じて情報を発信
- ・G I Sにより作成した交通安全マップをベースに情報の追加・共有を検討

(イ) 取組による効果の把握について

【評価・助言】

- ・様々な取組は行われているが、取組による効果を把握することが必要。「何をやったか」とともに「それによってどうなったか」。
- ・「安全」と「安心」で成果の実感が異なり、S Cでは「安全」と「安心」の両方が必要。活動の実施者は主観的である「安心」を大切にするが、傷害サーベイランス分科会では客観性に基づく「安全」も議論する必要がある。

【対策】

- ・WHO 協働センターに提出した申請書に基づく取組を中心に、アンケート調査等により、取組による効果を把握。
- ・「傷害サーベイランスに関する調査研究」を活用し、客観性に基づく「安全」に関わる新たな取組を検討。

1 こども安全対策分科会

① よこはま学援隊

メンバーによる子どもの安全見守り活動の実施。
(学援隊：約2,400名)



1 こども安全対策分科会

② 学校・公園の遊具の点検

校庭にある遊具は年1回、公園の遊具は年4回の点検を実施。



2 スポーツ・余暇安全対策分科会

1 さかえっ子体操

認証を記念して作成。小学校や区内のイベント等で普及啓発を実施。PR用DVDも作成。



2 スポーツ・余暇安全対策分科会

2 一般区民参加型の主なスポーツイベント

各団体が様々なスポーツイベントを開催し、区民の心身の健康づくりと相互交流を推進。

(スポーツ・レクリエーションフェスティバル、栄区民ロードレース大会など)



3 交通安全対策分科会

① 交通安全マップ

スクールゾーン対策協議会へのヒアリングを実施。
環境整備地点・事故発生地点の情報に加え、新たに
ヒヤリハット地点を追加し、データを充実。



3 交通安全対策分科会

② スクールゾーン対策協議会

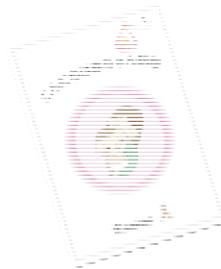
ハード面（通学路を含めた学校周辺の交通環境の調査、
危険箇所等に関して設備改善）と、
ソフト面（家庭や学校での交通安全教育、地域と連携
した登下校の見守り活動や交通安全指導）での活動。



4 暴力・虐待予防対策分科会

① こんにちは赤ちゃん訪問

生後4か月までの赤ちゃんがいる家庭を地域の訪問員が訪問。子育て支援に関する情報の提供を行い、養育者の話を聴くことで育児不安の軽減を図る。
(訪問率80.1% 399件 H25年度上半期)

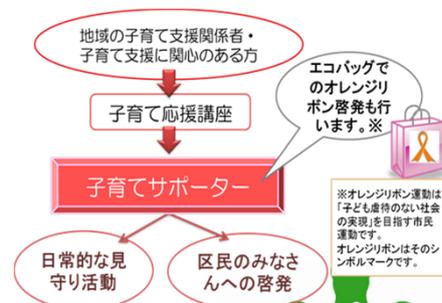


4 暴力・虐待予防対策分科会

② さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業

子育て応援講座を開催し、受講した方が子育てサポーターとなり、各地域での自主的な啓発活動につなげる。

(子育て応援サポーター養成講座262人参加、約2,000人への啓発、フォーアアップ講座68人参加)



5 高齢者安全対策分科会

① 地域の力を活かした見守り活動

ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業、
看護職による高齢者訪問事業、「NPO法人公田町団地
お互いさまねっと」による見守り活動など、
虐待を含む支援の必要な高齢者を早期に発見するため、
地域の見守り活動の担い手を育成。

(見守り活動の担い手育成 4 団体、見守り活動区内全
域)



5 高齢者安全対策分科会

② 元気づくりステーション

高齢者自身が介護予防や健康づくりを目的とした活動を
自主的・継続的に行う「元気づくりステーション」の立
ち上げを支援。(7か所のステーション立ち上げ)



6 災害安全対策分科会(地震)

① 地域防災拠点で行われた特徴的な取組

学校と連携し児童・生徒と地域が一体となった防災訓練、女性の視点を反映した避難所運営ワークショップ、地元企業・事業所が参加した防災訓練など様々な取組を実施。



6 災害安全対策分科会(地震)

② 災害時要援護者への避難支援取組の充実

地域における要援護者の把握と避難訓練の実施など、災害時に要援護者が安全に避難できる体制づくりを推進。(全自治会町内会中84%が避難支援の取組に着手)



7 自殺予防対策分科会

1 「さかえ・ハートフルサポーターの育成」 「サポーターと取り組む啓発活動」

身近な方による見守りで自殺に傾く人を支えられるよう、さかえ・ハートフルサポーター(ゲートキーパー)を育成。(サポーター(H25)242人、(累計)882人)

自殺対策強化月間の啓発活動は、サポーターとともに展開。(リーフレット配布(H25)1,193人、(累計)9,320人)



心のまちづくり
さかえ・ハートフルサポーター
COMMUNITY

7 自殺予防対策分科会

2 「栄区メンタルヘルス支援ネットワーク」 「栄区いのちところのホットライン」

支援者のスキルアップと支え合いの場である“栄区メンタルヘルス支援ネットワーク”を実施。((H25) 3回、(累計) 5回)

精神保健福祉士による相談電話を開設。(平成25年7月25日～)



安全・安心のまちづくり
さかえ・ハートフルサポーター
SAFE COMMUNITY

平成 26 年度栄区セーフコミュニティ活動について

1 平成 26 年度の取組

セーフコミュニティ都市として、今後は、さらなる安全・安心なまちづくりに向け、地域コミュニティの力に根ざした安全・安心の取組を着実に推進します。また、各分科会の活動実績を年次報告書としてまとめ、WHO 協働センターに報告します。

【主な取組】

(1) 各分科会の取組の推進

各分科会の取組を推進し、地域コミュニティの持続的な進展につなげます。(別添資料 2-1 参照)

(2) プロモーションについて

別添資料 2-2 参照

(3) セーフコミュニティフォーラムについて

認証を取得した 10 月を安心・安全の取組を区民全体で盛り上げていく重点期間として、10 月 4 (土) にフォーラムを開催。(別添資料 2-3 参照)

(4) その他

・新たなプログラムの検討

傷害サーベイランス分科会の助言を受け、事故・けがの実態と因果関係について研究した「傷害サーベイランスに関する調査研究」(横浜市立大学 田高教授)を活用し、客観性に基づく「安全」に関わる新たな取組を検討。

・国際ネットワークへの参加報告

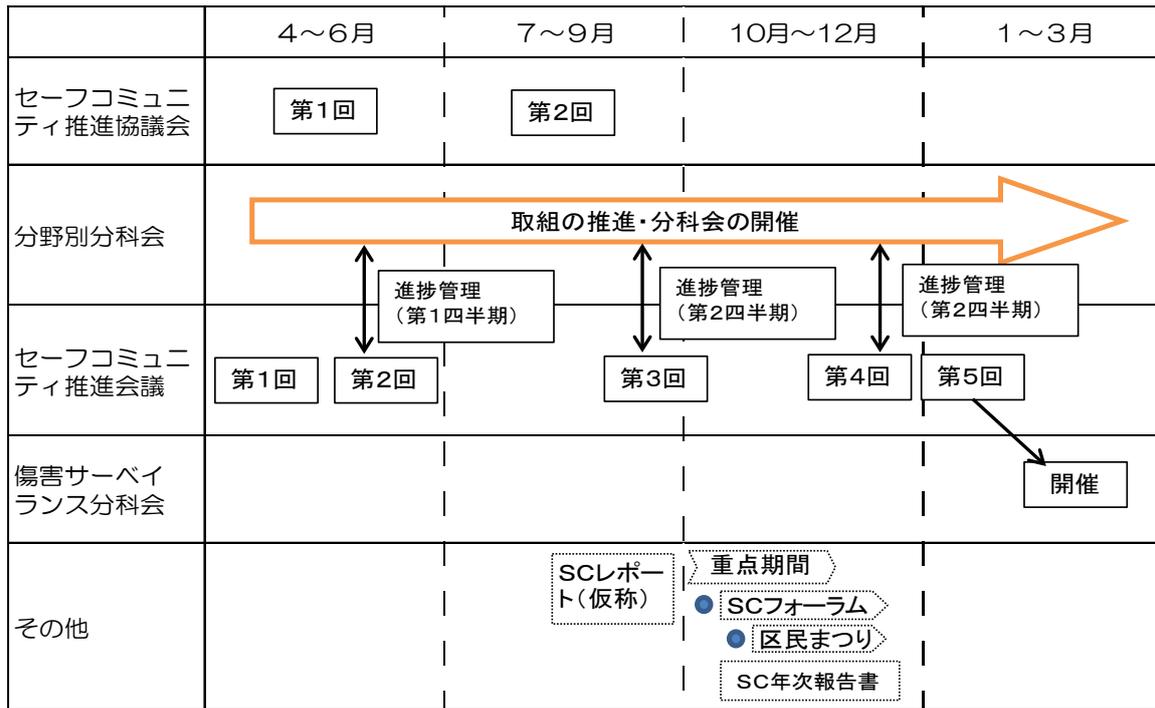
情報収集及びネットワーク間の交流促進のため、第 7 回アジア地域セーフコミュニティ会議へ出席。

【期 間】: 5 月 12 日 (月) ~ 15 日 (木) ※12、13 日に参加

【参加数】: 13 か国 80 自治体 約 220 人 ※日本からは 10 都市が参加

【開催場所】: 韓国 釜山広域市

2 年間スケジュール



<平成26年度の取組内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目		H26年度の取組内容	指標	H26目標値
1	居心地の良いコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントへの子どもの参加のよびかけ(通年) ・「子どもの見守り推進大会」開催(11月) ・「よこはま学援隊」の推進(通年) ・「こども110番の家」の普及(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域のイベントへの子どもの参加機会の拡大 ② 「よこはま学援隊」の活動の充実 ③ 「こども110番の家」の普及 	①・②・③ 推進
2	こどもが活き活きと遊べる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭等の芝生化のメリットや芝生管理の好事例などの共有化(通年) ・校庭等の芝生化を実施(小学校1校、保育園1園、公園2箇所) ・MISIAの森プロジェクトを中心に、森や川を体験し、その魅力を学ぶ連続した環境学習イベントを実施(通年) ・公園、保育園等の遊具の点検 公園:年4回 保育園:年1回(4園) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 校庭、園庭、公園の芝生化 ② 「自然観察の森」等豊かな自然を活用した、栄区ならではのこどもの健康づくり ③ 公園、保育園等の諸施設・遊具等の管理点検を徹底 	①・② 推進 ③ 施設関連事故ゼロの維持
3	こどもの基礎体力・運動能力向上の取組、生活習慣の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で体力向上の取組を推進(通年) ・中学校対校駅伝の実施(3月) ・防災講演会の実施:区内保育所 1回 ・訪問運動指導を実施:保育園4園 各5回 ・子ども会イベント実施時の危険予知トレーニング(KYT)を実施 ・食生活等改善推進員(ヘルスメイト)を中心にした食育講座の開催をPTA等に呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各小・中学校でプログラムを作成・実施(体力向上1校1実践運動) ② 事故防止教室の開催や危険予知向上の指導等の実施 ③ 危険予知トレーニングの実施 ④ 放課後、こどもの指導に当たるスタッフの安全教育を実施 ⑤ 食育講座等の実施 	① 全校実施 ②・③・④・ ⑤ 推進
4	こどもを犯罪から守るコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生を対象とした防犯ブザーの配布(2月) ・栄区情報配信サービスによる防犯情報メール登録の呼びかけ ・学校でのサイバー教室の実施 ・保護司等の人材確保のための呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 防犯パトロールや防犯キャンペーン等の啓発活動の実施 ② 防犯情報メールや、「ピーガールくん子ども安全メール」の登録会員 ③ 学校でのサイバー教室等の開催 ④ 保護司等の人材確保のための取組を検討・実施 	①・③・④ 推進 ② 増加

<平成26年度の取組内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目		H26年度の取組内容	指標	H26目標値
1	すべての区民を対象とするスポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・栄区体育協会各競技団体主催の各区民大会の開催(通年) ・「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」(10月)、「栄区民スポーツフェスティバル」(11月)、「栄区民ロードレース大会」(1月)の開催 ・その他、自治会、町内会主催の「運動会」「スポーツ大会」の開催(通年) ・区民アンケート等を活用し、区民のスポーツ実施状況を把握(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・状況把握 	拡大実施
2	子ども向けのスポーツ活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄区民スポーツフェスティバル」(11月)や区民まつりでの「スポーツ体験広場」(11月)において、子どもが様々なスポーツを体験できる機会を創出 ・「さかえっ子体操」等を通じて、子ども向け事故・けが予防に関する啓発活動の実施(通年) ・中体連と連携し、中学生や高校生への取組を実施(通年) 	実施	実施
3	高齢者向けのスポーツ活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「てくてくウォーク栄」の開催(2月) ・栄区シニアクラブ連合会主催のスポーツイベントの開催(通年) ・自治会、町内会主催のスポーツ、レクリエーションイベントの開催(通年) ・「栄区民スポーツフェスティバル」(11月)や区民まつりでの「スポーツ体験広場」(11月)において、高齢者が様々なスポーツを体験できる機会を創出 ・保健活動推進員や食生活等改善推進員(ヘルスマイト)と連携し、広報啓発活動を実施(通年) 	実施	実施
4	事故・けが予防のための意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・各構成団体の安全配慮に対する取組の情報共有(通年) ・「さかえっ子体操」の普及啓発(通年) ・スポーツ医学等の専門家を講師とした講習会の開催(5/12) ・各イベント時における事故・けが予防の普及啓発(通年) 	実施	実施

交通安全対策分科会

【目標】交通ルールが遵守され、地域の思いやりの心に支えられた、
事故のない安心を感じられるコミュニティの形成。

<平成26年度の取組内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目		H26年度の取組内容	指標	H26目標値
1	交通安全マップの作成と活用	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全マップの更新及びこども110番の家データとの連携(随時) パソコンを利用した説明会等の実施(4月～8月) 	データの活用	実施
2	啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各季(期間)の交通安全運動の実施(8・11・1月を除く各月) 「はまっこ交通安全教室」の全小学校実施(4月～10月) ヘルメット着用啓発チラシの配布(7,000枚) 見守り活動安全誘導講習等の開催(12回) 高齢者向け交通安全教室の開催(20回) 	講習会等の実施	実施
3	安全な交通環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 地域で連携した見守り活動の実施(随時) 地域と道路・交通管理者が連携した安全対策の実施 	ソフト・ハードによる安全対策	実施

暴力・虐待予防対策分科会

【目標】子育て世帯を温かく見守る地域づくりを広げていくための、地域に向けた啓発の推進を行う。

<平成26年度の実施内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目		H26年度の実施内容	指標	H26目標値
1	地域で子育てをする風土づくり	・こんにちは赤ちゃん訪問の実施	こんにちは赤ちゃん訪問率	80%
		・さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業の実施		
		・パネル展示、区民まつり、広報等による啓発活動		
2	子育てを支援する人材の育成	・子育て応援講座の実施(7月)	受講者数	
		・子育て支援団体連絡会での研修会、情報交換等	参加者数	
3	情報発信の仕組みづくり	・地域子育て支援拠点、地域ケアプラザ、区の共催による「マル得！わくわく子育て講座」の実施(9月～)	開催数	6か所
		・母親学級、両親教室、赤ちゃん会等でのSBS防止の周知	周知人数	
		・父子手帳の作成、発行 ・区内医療機関紹介冊子の作成、こんにちは赤ちゃん訪問員による配布		
4	育児不安等に関する相談窓口の周知	・区内小中学校新入生、保育園幼稚園への子ども・家庭支援相談の周知	チラシ配布数	5,000部
		・子育て応援講座、児童虐待防止連絡会等での周知		
5	児童虐待の早期発見・対応	・区における虐待対応調整チームでの対応、通告受理		
		・関係機関の連携による対応(個別ケース検討会議、実務者会議等)		
6	子育て支援環境の充実	・保育施設の新規整備(笠間地区)	待機児童数	0
		・既存の保育資源の活用		
	その他 (改編含む)	<改編> ・平成26年度2回目(11月)以降、委員について変更を予定		

高齢者安全対策分科会

【目標】誰もが“生涯現役”として、身近な地域で自分らしく暮らし、支援が必要なときには声をかけあえるコミュニティの形成。

<平成26年度の実施内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目		H26年度の実施内容	指標	H26目標値
1	高齢者の元気づくり	・元気づくりステーションが立上っていない地域ケアプラザに立ち上げ支援	元気づくりステーション数	12か所
2	栄区の特徴に合わせた体力向上・脳力向上プログラムの開発と普及	①筋トレやノルディックウォークなどの自主グループへ継続支援 ②新規の自主グループの立上げに取り組む	継続支援 新規グループの立上げ	随時
3	高齢者を支えるネットワークの形成	①認知症サポーター養成講座の継続実施と取組方法の見直し ②配食サービス、サロン、家事援助等のインフォーマルサービスへの支援	継続支援 団体への支援の拡大	取組方法の見直し 80団体
4	地域の力を活かした見守り活動の促進	・H25年度に行った虐待事例の振り返りを活かして、関係機関に対し研修や出前講座の実施	研修等の実施	実施
5	関係機関との連携強化と相談支援の充実	①SOSネットワークを広く周知し、登録者数を増やし、協力機関を拡大 ②若年認知症のつどいと家族会の今後の方向性の検討 ③地域ケア会議を個別レベルから包括レベルに引き上げ、地域課題を抽出し検討	登録者数 検討会の実施 地域ケア会議の充実	95人 実施 実施
	その他 (改編含む)	・平成26年度第1回目の分科会(7月予定)以降、改編を予定		

高齢者安全対策分科会

【目標】誰もが“生涯現役”として、身近な地域で自分らしく暮らし、支援が必要なときには声をかけあえるコミュニティの形成。

<平成26年度の実施内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目		H26年度の実施内容	指標	H26目標値
1	高齢者の元気づくり	・元気づくりステーションが立上っていない地域ケアプラザに立ち上げ支援	元気づくりステーション数	12か所
2	栄区の特徴に合わせた体力向上・脳力向上プログラムの開発と普及	①筋トレやノルディックウォークなどの自主グループへ継続支援 ②新規の自主グループの立上げに取り組む	継続支援 新規グループの立上げ	随時
3	高齢者を支えるネットワークの形成	①認知症サポーター養成講座の継続実施と取組方法の見直し ②配食サービス、サロン、家事援助等のインフォーマルサービスへの支援	継続支援 団体への支援の拡大	取組方法の見直し 80団体
4	地域の力を活かした見守り活動の促進	・H25年度に行った虐待事例の振り返りを活かして、関係機関に対し研修や出前講座の実施	研修等の実施	実施
5	関係機関との連携強化と相談支援の充実	①SOSネットワークを広く周知し、登録者数を増やし、協力機関を拡大 ②若年認知症のつどいと家族会の今後の方向性の検討 ③地域ケア会議を個別レベルから包括レベルに引き上げ、地域課題を抽出し検討	登録者数 検討会の実施 地域ケア会議の充実	95人 実施 実施
	その他 (改編含む)	・平成26年度第1回目の分科会(7月予定)以降、改編を予定		

災害安全対策分科会

【目標】いざという時に、身近な地域で誰もが助け合えるネットワークがあり、
安心を感じられるコミュニティの形成。

<平成26年度 of 取組内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目		H26年度 of 取組内容	指標	H26目標値
地震	1 地域防災の担い手の確保・育成	①消防団員募集広報の実施(特に女性団員の確保) ②防災教室(4～11月) ③救命講習の実施(2月) ④防災ライセンスリーダー講習の実施(10月、30人)	①消防団員数 ②実施校数 ③実施校数 ④ライセンス保持者	①320人 ②14校 ③中学7校 ④290人
	2 ボランティア体制の整備	ボランティアセンター立ち上げ訓練による機能強化(6月、2月)	訓練の実施	2回
	3 地域防災力の強化	①学校、事業所と連携した地域防災拠点訓練の実施(9月～2月) 自治会町内会、福祉施設等の訓練の把握 ②発災時の運営を想定した訓練内容の実施(9月～2月)	①訓練参加者数 ②開設訓練実施拠点数	①20,000人 ②20拠点
	4 防災広報の充実	①地区別意見交換会、出前講座の実施(6、7月) ②家具転倒防止器具設置等補助制度の広報(市の実施に合わせる)	①意見交換会の実施 ②家具転倒防止器具設置率	①7地区 ②40%
	5 防災情報の充実	①防災情報Eメールの登録促進(随時) ②栄区防災情報Eメールの運用の開始(8月) ③栄区防災マップの配布(6月)	①登録者数 ②運用の開始 ③全戸配布の実施	①35,000人 ②運用開始 ③実施
	6 災害時要援護者への避難支援取組の充実	取組未実施の自治会町内会への個別支援	個別支援の実施	実施
水害・火災	1 水害対策訓練の実施	①水害対策連絡協議会(6月)・訓練の実施(7月～9月) ②ハザードマップを活用した広報(通年) ③小学生に対する河川増水時の危険についての広報・教育(7月)	①協議会・訓練の実施 ②配布 ③広報等の実施	①実施 ②配布 ③14校
	2 地域との連携による巡回警戒対策	巡回警戒の継続実施(通年)	巡回警戒実施回数	1,000回
	3 広報の充実	①区連会での周知(毎月) ②自治会町内会町内会広報(随時)	実施回数	①10回 ②7回

平成 26 年度の防災（震災対策）の取組について

1 基本的な考え方

- 栄区の地域コミュニティを支える自治会町内会、さらに各種団体と防災という観点から連携を一層強化します。
- 区役所の防災に関する多様な施策を総合的に推進します。また、関係機関・施設・事業所などの取組とも連携します。
- 女性への配慮、障害者への対応、ペットの避難など東日本大震災での様々な教訓を生かしていけるようにします。

2 26 年度の取組（★は新規）

	項 目	内 容
自 助	栄区防災マップ★	地域防災拠点や医療機関の位置などが記された「栄区防災マップ」を全戸配布します。（6月）
	高齢者世帯への支援★	災害時に弱者になりやすい高齢単身者世帯の方を中心に、訪問時やサロンなどの場を通じて、家具転倒防止の対応や備蓄などを伝えていきます。（7月から）
	転倒予防講演会★	災害時の避難経路の確保や普段からのつまづき防止のための室内環境の整理を推奨するための講演会を開催します。（10月）
	ペットの防災対策★	獣医師会などが作成したリーフレットの配布（4月）や講習会（10月）などを通じて、災害時の飼い主としての対応など普及啓発します。
	事業所・福祉施設等の訓練★	事業所・福祉施設等に対して備蓄、一斉帰宅の抑制、防災訓練などの働きかけを行います。区役所として、こうした動きを把握していきます。（随時）
	栄区防災情報Eメール★	栄区内の被災状況、病院の診療情報など、区内のきめ細やかな情報を配信します。（8月）
共 助	地区別意見交換会★	連合ごとに、連合町内会、自治会町内会の災害時の具体的な役割について意見交換します。（6月～7月）
	地域避難所の選定★	自治会町内会による選定作業に入っていただくよう、意見交換会の場をスタートとして、協議を始めます。（6月から順次）
	地域防災拠点運営	すべての地域防災拠点訓練で生徒の参加、訓練の区としての周知など、多くの方が訓練に参加できるようにします。また、避難所生活での女性への配慮の意識を共有するためのワークショップや高齢者・障害者専用スペースの確保など進めていきます。（9月）
	災害時要援護者支援の取組	今後、3か年ですべての自治会町内会で要援護者支援の取組が始まるよう、積極的に働きかけていきます。（現在 48 自治会町内会実施中）
	防災フォーラム	被災地の生の声を聞く貴重な機会として、防災フォーラムを引き続き実施します。（3月）

公 助	医療機関との連携	災害時における病院や診療所の診療状況を把握できるシステムを作ります。また、災害時の環境を想定した病院との通信訓練や医療救護隊の参集訓練を行います。(11月)
	特別避難場所との連携★	福祉施設等と災害時の具体的な対応を協議する場として連絡会をスタートさせます。また、区役所と連携した防災訓練を3施設で実施します(7月から)

3 区役所の体制強化

(1) 地域防災拠点の支援体制

全ての地域防災拠点に参加として責任職を配置し、日頃の運営委員会へ参加するとともに、災害時に当該拠点に参集する職員が運営委員会や訓練参加などにより、連携を強化します。

(2) 情報手段

ア 衛星携帯電話や防災行政無線を活用し、速やかな情報の受伝達を行います。

イ すべての職員が「職員安否・参集確認システム」を活用することにより、職員の安否確認を行います。

(3) 職員用備蓄

全職員が発災の初動期に災害対策に専念できるよう、おおむね3日分の備蓄を行っています。

自殺予防対策分科会

【目標】さかえ・ハートフルサポーターの一般区民への拡がりの実態把握の推進。

<平成26年度の取組内容(行動計画に基づく取組)>

取組項目	H26年度の取組内容	指標	H26目標値
1 啓発活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット・啓発グッズ配布 自殺対策強化月間キャンペーン展開(9月、3月:2回開催) 	リーフレットの作成・配布数	10,500人
2 担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> さかえ・ハートフルサポーター基礎研修の実施(6月:スポーツ推進委員対象1回【新規】、区役所職員対象2回)(130人) セーフコミュニティ月間に合わせた一般区民向け講座の実施(10月:1回) さかえ・ハートフルサポーター(基礎研修受講者)向け通信発行(9月、3月:2回) さかえ・ハートフルサポータースキルアップ研修の実施(10月:民生委員、保健活動推進員対象1回) 	さかえ・ハートフルサポーターの数	900人
3 研修及び啓発活動の効果測定による改善	<ul style="list-style-type: none"> 受講対象の属性を踏まえた研修内容の見直し(6月) 	自殺対策に関する知識の正答率	70%→85%
4 相談窓口の周知	<ul style="list-style-type: none"> 実態把握を踏まえた周知(9・3月) 	相談窓口一覧リーフレットの配布	7,500部
5 メンタルヘルス対策従事者によるネットワーク学習会の実施	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス支援ネットワークの継続実施(通年:3回) 	実施回数	3回
6 ハイリスク者対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス支援ネットワークの継続実施(通年:3回) 医療機関救急科スタッフへの情報提供(通年) 	メンタルヘルス支援ネットワークの実施	実施
7 その他 (分科会改編含む)	<ul style="list-style-type: none"> 警察、消防データの分析(通年) 栄区いのちのちどころのホットライン実施(月2回、通年) 20歳～40歳代の区民向け健康づくり講座の実施(9・10月:2回)【新規】(ここからライフスタイル事業全7回講座のうち、9・10月開催の2回を自殺予防対策と関連づけて実施予定) <p><改編></p> <ul style="list-style-type: none"> 委員に栄区薬剤師会会長を追加(26年度第1回分科会から) 		

平成 26 年度 セーフコミュニティプロモーション（案）

セーフコミュニティ認証都市として、セーフコミュニティの活動が区民の皆さまに浸透するように努めてまいります。なお、10月のセーフコミュニティフォーラムを皮切りに11月の区民祭りまでを強化月間とし、重点的にPRを行ってまいります。

1 実施内容

- (1) 啓発物の配布、バナー掲出他（6月末）
 - ・ のぼり旗配布
各町内会自治会においてのぼり旗の掲出を依頼
 - ・ バナーデータの配布、HPからのデータ提供 等
町内会自治会、各種団体におけるあらゆる広報印刷物にバナー等の掲出を依頼
- (2) ヒダノ修一プロデュースによる「さかえ竹の鼓K I D s ♪ v o l . 2」ワークショップ、パフォーマンスによる広報活動
 - ・ ワークショップ及びレッスン（4回程度）
 - ・ イベント等でのパフォーマンス
- (3) セーフコミュニティフォーラム
 - ・ フォーラムステージでのパフォーマンス
- (4) さかえ区民まつり
 - ・ セーフコミュニティスペシャルステージでのパフォーマンス等調整中

2 スケジュール

	啓発物品	竹の鼓K I D s
5月	物品発注製作	
6月	区連会、各種団体総会において、のぼり旗の掲出、広報印刷物へのバナー掲出を依頼	広報区版で参加者募集
7月		参加者向け説明会
8月		ワークショップ実施
9月		パフォーマンスに向けたレッスン
10月		セーフコミュニティフォーラムでのパフォーマンス
11月		区民祭りでのパフォーマンス

第 1 回 栄セーフコミュニティフォーラム 企画案

1 目的

セーフコミュニティ活動の輪を広げることを通じて、活動の認知度向上と更なる活性化を図ることを目的に、認証取得した 10 月を重点期間とした各種取り組みを今後継続して実施していきます。

セーフコミュニティフォーラムは、その重点期間の起点（＝キックオフイベント）として、地域ぐるみで取り組む「安全・安心」に関わる活動を強く訴え、今後の取り組みにつなげるきっかけとして展開を図っていきます。

2 コンセプト

初年度となる今年は「まちとまちのつながり」をテーマとして、セーフコミュニティ認証取得都市間での交流をメインの内容としていきます。

当日の構成は 2 部構成とし、第 1 部のパネルディスカッションでは、認証取得をしている他都市からの代表者を迎え、他都市での取り組み紹介や意見交換を通じて、今後の取り組み内容アップへの意識醸成を図ります。併せて、セーフコミュニティ標語コンクールの表彰を実施し、区民参加の雰囲気を盛り上げます。

第 2 部では、竹の鼓 KIDs ♪ やさかえっ子体操の実演を通じてセーフコミュニティ活動の取組の一環を紹介し、区民への認知度アップを図るとともに、発表への参加を通じたモチベーションの向上を図ります。併せて、プロ活動家であるヒダノ氏の一流の演奏によってイベント全体を盛り上げます。

3 開催日時・場所

10 月 4 日（土）13 時～15 時 30 分 栄公会堂

4 プログラム

(1) 内容

【第 1 部】

① パネルディスカッション「セーフコミュニティ活動（仮称）」・・・ 50 分

コーディネーター：調整中

パネリスト：調整中（認証取得都市関係者から 3 名の予定）

調整中（栄区 SC 活動関係者から 1 名の予定）

② セーフコミュニティ標語コンクール表彰式・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 分

~~~~~（休憩 10 分）~~~~~

##### 【第 2 部】

③ 竹の鼓 KIDs ♪ によるパフォーマンス・・・・・・・・・・・・・・・・ 15 分

④ さかえっ子体操披露・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 分

⑤ 太鼓ドラマーヒダノ修一：スーパー太鼓セッション・・・・・・・・ 40 分

#### (2) 会場外展示

① 分科会活動紹介（パネル）、NPO パネル

② パネルディスカッション参加自治体による物販等

### 5 その他（SC 月間との連携）

会場外展示で使用した写真・活動紹介パネル及び標語コンクール表彰作品は、期間中を通じて区役所 1 階のスペースに展示し、SC 月間の賑わいの一助とします。

## 第 3 期栄区地域福祉保健計画策定の考え方 及び 地区別計画策定の方法とスケジュールについて

### ■ 第 3 期栄区地域福祉保健計画策定の考え方

「第 2 期栄区福祉保健計画（さかえ・つながるプラン）」（平成 22～27 年度の 6 か年計画）の 4 年目をむかえ、区計画並びに地区別計画に基づく活動が着実に広がってきているところと思います。

しかし一方で、計画策定時と現在とでは、取り巻く環境も大きく変わってきています。例えば、超高齢化社会が進む中での「健康寿命」や「孤立死」、子育て家庭における「DV」、また、セーフコミュニティの分科会で取り組んでいる「児童虐待」や「自殺予防」などの課題は、現行計画には盛り込まれておりません。

本市の計画では、平成 28 年度より各区において次期地域福祉保健計画（第 3 期）を策定、推進することとなっています。

栄区では 3 月 6 日に開催された栄区地域福祉保健推進会議において、次の視点を取り入れた上で、次期計画策定に取り組むこととなりました。今後、地区連合町内会、自治会町内会をはじめ、地域の皆様からいろいろな形で意見を伺いながら、計画策定を進めてまいります。

#### 【参考】地域福祉保健計画の計画期間

|            | H17           | H18                      | H19 | H20 | H21 | H22                                   | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28                   |
|------------|---------------|--------------------------|-----|-----|-----|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------------|
| 栄区         | 第 1 期 地域福祉計画  |                          |     |     |     | 第 2 期 地域福祉保健計画<br>「さかえ・つながるプラン」 (一体化) |     |     |     |     |     | 第 3 期<br>地域福祉<br>保健計画 |
| 栄区社会福祉協議会  | 第 2 次<br>活動計画 | 第 3 次 活動計画<br>「さかエールプラン」 |     |     |     | 第 2 期 地域福祉保健計画<br>「さかえ・つながるプラン」 (一体化) |     |     |     |     |     | 第 3 期<br>地域福祉<br>保健計画 |
| 横浜市        | 第 1 期 地域福祉計画  |                          |     |     |     | 第 2 期 地域福祉保健計画                        |     |     |     |     |     | 第 3 期 地域福祉保健計画        |
| 横浜市社会福祉協議会 | 第 2 次         | 第 3 次 活動計画               |     |     |     | 第 4 次 活動計画                            |     |     |     |     |     | 第 3 期 地域福祉保健計画        |

#### 【見直しの視点】

- **地区別計画に重点を置く**  
各地域において関心が高く熱心な取組を支援できる計画にします。
- **広い分野を取り入れる**  
福祉保健分野の各計画・取組はもちろん、まちづくりの観点など区政全体の広い分野と連携した計画にします。
- **住民参加**  
区民の皆様からいろいろな形で意見をいただき、オール栄区で作り上げる計画にします。
- **環境に合わせた対応**  
P D C A サイクルを取り入れ、環境の変化に応じ、タイムリーな課題に取り組める計画にします。
- **未来志向**  
現状の課題解決のみならず、将来を見据え、栄区に住む人が夢を持って暮らせる計画にします。